

平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年2月8日

上場会社名 株式会社ハピネット 上場取引所 東
 コード番号 7552 URL <http://www.happinet.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 榎本 誠一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経営本部長 (氏名) 柴田 亨 (TEL) 03-3847-0410
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	153,682	14.8	4,694	43.5	4,540	46.9	3,793	111.6
29年3月期第3四半期	133,902	△10.7	3,270	1.8	3,090	△4.9	1,793	△15.1

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 4,831百万円(114.3%) 29年3月期第3四半期 2,254百万円(1.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	174.45	170.56
29年3月期第3四半期	80.64	79.09

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	84,717	36,486	42.4
29年3月期	61,337	32,311	51.8

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 35,922百万円 29年3月期 31,760百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	15.00	—	20.00	35.00
30年3月期	—	15.00	—		
30年3月期(予想)				25.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

29年3月期 期末配当金の内訳 普通配当 15円00銭 記念配当 5円00銭

30年3月期(予想) 期末配当金の内訳 普通配当 15円00銭 特別配当 10円00銭

配当予想の修正については、本日(平成30年2月8日)公表しました「期末配当予想の修正(特別配当の実施)に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	193,000	10.9	4,800	29.8	4,600	32.2	3,800	86.2
								171.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

業績予想の修正については、本日(平成30年2月8日)公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	30年3月期3Q	24,050,000株	29年3月期	24,050,000株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	2,273,050株	29年3月期	2,368,110株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	30年3月期3Q	21,748,283株	29年3月期3Q	22,236,842株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料は、平成30年2月8日に当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における当社グループの関連業界におきましては、ビデオゲーム市場は持ち直しの動きが続いているものの、玩具市場は少子化や消費者ニーズの多様化、映像音楽市場は配信サービスの普及など視聴方法の多様化により、依然厳しい状況で推移しております。

このような状況の中、当社グループの業績につきましては、ビデオゲーム事業にて任天堂の「Nintendo Switch」ハード及び関連ソフトが好調に推移したことや、映像音楽事業にて一部ヒット商品に恵まれたことにより、売上高、利益面ともに前年同期を大幅に上回りました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,536億8千2百万円(前年同期比14.8%増)、営業利益は46億9千4百万円(同43.5%増)、経常利益は45億4千万円(同46.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は37億9千3百万円(同111.6%増)となりました。

なお、当社は、平成29年12月11日開催の取締役会において、平成30年3月1日を効力発生日として、当社子会社にて株式会社星光堂の音楽映像パッケージの卸売事業に関して有する権利義務の一部を会社分割により承継する事を決議し、同日に吸収分割契約を締結いたしました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①玩具事業

中核事業であります玩具事業につきましては、バンダイの「仮面ライダービルド」や「ウルトラマンジード」、女兒向けキャラクター商品などの一部商材は好調に推移いたしましたが、最大の商戦期であります年末商戦において、ビデオゲーム市場の好調が玩具市場に影響し、売上高、利益面ともに前年同期を下回りました。

この結果、売上高は581億4千5百万円(前年同期比2.2%減)、セグメント利益は27億6千5百万円(同2.2%減)となりました。

②映像音楽事業

映像音楽事業につきましては、パッケージ市場が縮小する中、平成30年9月に引退を発表している安室奈美恵のベストCDアルバム「Finally」、映画「君の名は。」や自社作品である映画「キセキーあの日のソビト」などのパッケージが好調に推移するなど、売上高、利益面ともに前年同期を上回りました。

この結果、売上高は281億4千8百万円(前年同期比9.1%増)、セグメント利益は4億8千2百万円(同34.6%増)となりました。

③ビデオゲーム事業

ビデオゲーム事業につきましては、任天堂の「Nintendo Switch」ハード及び「スーパーマリオオデッセイ」などの関連ソフト、ニンテンドー3DSのソフト「ポケットモンスター ウルトラサン・ウルトラムーン」及び「ニンテンドークラシックミニ スーパーファミコン」が好調に推移し、売上高、利益面ともに前年同期を大幅に上回りました。

この結果、売上高は524億2千4百万円(前年同期比56.6%増)、セグメント利益は11億9千4百万円(同378.0%増)となりました。

④アミューズメント事業

アミューズメント事業につきましては、カプセル玩具は駅構内や大型ショッピングモールなど優良なロケーションでの販売が好調なことに加え、仮面ライダー関連商品なども好調に推移したものの、カードゲーム商材が低調に推移したことにより、売上高は前年同期を下回りました。利益面においては、ロケーションの見直しなどにより前年同期を上回りました。

この結果、売上高は149億6千3百万円(前年同期比1.5%減)、セグメント利益は12億3千2百万円(同38.6%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べ233億7千9百万円増加し、847億1千7百万円となりました。これは主に、売上債権等の流動資産の増加226億8千7百万円によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債につきましては、前連結会計年度末に比べ192億4百万円増加し、482億3千万円となりました。これは主に、仕入債務等の流動負債の増加188億4千7百万円によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ41億7千5百万円増加し、364億8千6百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加37億9千3百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の見通しにつきましては、当社グループの最大の商戦期でありますクリスマス・年末年始商戦においてビデオゲーム事業で任天堂の「Nintendo Switch」ハード及び関連ソフトが好調に推移し、平成29年12月18日に「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表しました通期の連結業績予想を上回る見通しであります。

詳細につきましては、本日（平成30年2月8日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,605	7,789
受取手形及び売掛金	28,258	52,231
たな卸資産	6,300	8,696
その他	2,813	2,950
貸倒引当金	△1	△4
流動資産合計	48,975	71,663
固定資産		
有形固定資産	777	745
無形固定資産	1,005	1,367
投資その他の資産		
投資有価証券	7,105	8,277
その他	3,483	2,666
貸倒引当金	△9	△3
投資その他の資産合計	10,579	10,940
固定資産合計	12,361	13,053
資産合計	61,337	84,717
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	21,550	38,450
未払法人税等	624	990
賞与引当金	242	102
その他の引当金	12	17
その他	2,758	4,474
流動負債合計	25,188	44,036
固定負債		
退職給付に係る負債	2,906	3,007
その他	931	1,186
固定負債合計	3,837	4,194
負債合計	29,026	48,230
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,751	2,751
資本剰余金	2,784	2,795
利益剰余金	27,054	30,087
自己株式	△1,997	△1,917
株主資本合計	30,592	33,717
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,167	2,204
繰延ヘッジ損益	△0	△0
その他の包括利益累計額合計	1,167	2,204
新株予約権	551	564
純資産合計	32,311	36,486
負債純資産合計	61,337	84,717

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	133,902	153,682
売上原価	116,762	135,728
売上総利益	17,139	17,954
販売費及び一般管理費	13,869	13,260
営業利益	3,270	4,694
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	38	61
その他	23	24
営業外収益合計	62	86
営業外費用		
支払利息	0	0
持分法による投資損失	237	238
その他	4	0
営業外費用合計	242	239
経常利益	3,090	4,540
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	—	27
受取賠償金	—	1,198
特別利益合計	0	1,225
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	55	10
関係会社株式評価損	—	17
倉庫移転費用	28	—
訴訟関連費用	51	78
特別損失合計	135	107
税金等調整前四半期純利益	2,955	5,659
法人税、住民税及び事業税	706	1,227
法人税等調整額	455	638
法人税等合計	1,161	1,865
四半期純利益	1,793	3,793
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,793	3,793

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	1,793	3,793
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	448	1,037
繰延ヘッジ損益	12	0
持分法適用会社に対する持分相当額	0	0
その他の包括利益合計	461	1,037
四半期包括利益	2,254	4,831
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,254	4,831
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	玩具事業	映像音楽事業	ビデオゲーム 事業	アミューズ メント事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	59,433	25,801	33,476	15,190	133,902	—	133,902
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	59,433	25,801	33,476	15,190	133,902	—	133,902
セグメント利益	2,827	358	249	889	4,325	△1,054	3,270

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,054百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,054百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	玩具事業	映像音楽事業	ビデオゲーム 事業	アミューズ メント事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	58,145	28,148	52,424	14,963	153,682	—	153,682
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	58,145	28,148	52,424	14,963	153,682	—	153,682
セグメント利益	2,765	482	1,194	1,232	5,675	△981	4,694

(注) 1. セグメント利益の調整額△981百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△981百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。